

～Aさんの暮らしを少しだけ紹介!!～

Aさん…
30代の女性です。
両親と生活しています。
知的障害があります。

月～金曜は就労継続支援A型事業所に通い、仕事をしています。休みの日は移動支援を利用してヘルパーさんと出かけたり、障害者福祉センターの行事に参加したり、家でのんびりしたり、自分のペースで過ごしています。

【Aさんより】

毎日6時30分頃家を出て、仕事から帰ると19時30分頃になります。大変だけど、今の仕事は好きだし、頑張っています。昨年後輩が入ったので、仕事はその人のことも気かけ、困っている時は教えてあげたり手伝ってあげたりしています。もちろん嫌なこともありますよ。そういう時は職員さんと話をしながら解決しています。今は定年までこの仕事を続けたいと思っています。

休みの日は障害者センターの行事やヘルパーさんのおでかけが楽しみです。ヘルパーさんとはバスと電車でショッピングセンターに行くことが多いかな。おでかけの時のお金は私のお給料から出しています。お給料は貯金もしているけど、何に使うかはまだ考え中です。

この先どんな生活をするんだろう…と考えることはあります。でも、できるだけ今家でお父さんとお母さんと一緒に生活したいし、私もできる時は家の手伝いもしています。仕事仲間にはグループホームで生活している人もいて、その人の話も聞きながら、ちょっとずつ考えてみようと思っています。

【就労継続支援A型事業所職員より】

入社して17年、バスと電車を乗り継ぎ、毎日元気に出勤されています。仕事は食品容器の組立、検品です。当初は作業を選び好むすることもありましたが、今では工程、人員配置を理解し、配置につかれています。後輩の面倒見も良く、必要不可欠な人材です。



【障害者福祉センター職員より】

毎月第1日曜には「ふでふで工房」の習字教室に参加されています。毎回休まず早めに来られ、準備されています。3月の展示会に向け作品も仕上がりました。また、毎月第2土曜日には「チャレンジタイム」にも参加されています。パステルアート、ブローチ作りなどにチャレンジされ、ものづくりを楽しまれています。空き時間にはボランティア、職員とたくさんおしゃべりされており、チャームな笑顔が印象的です。



【相談支援事業所職員より】

定期的にAさんと面談しています。Aさんの気持ち、生活の様子、A型事業所での仕事ぶりやヘルパーの利用状況等を教えてもらい、必要な時は事業所との連絡調整をしています。しんどい時もあると思いますが、毎日本当によく頑張られていると思います。



Aさんのように、福祉サービスを利用し、地域の行事にも参加しながら、自分らしく暮らされている人はたくさんいます。 ※移動支援など、利用できるサービスの中には一部要件があります。

支援者が変わった時、緊急時や災害時などに 関係機関に情報を共有できるようにしたい!



●心をつなぐサポートファイルひろしま 結愛～yui～

障害のある人の成長過程や支援内容など、幼少期から成人期の本人に関する情報を記載できるファイルです。

広島県内共通の様式となっています。

広島県HPからダウンロードできます▶



●医療的ケア児者手帳「つむぎ」

吸引や経管栄養など医療的ケアが必要な障害児者の医療的ケア方法や介助方法、障害福祉サービスの利用情報などを記載できる手帳です。



相談は無料です。
お気軽にご相談
ください!

尾道市障害者サポートセンター はな・はな

を紹介!!



どんな相談が
できる場所?

障害のある人が利用できる福祉制度、福祉サービス、生活の中の困り事などの相談をお受けします。事業所の紹介や福祉サービス利用のための調整などを行います。内容によっては専門機関の情報提供、関係機関との情報の共有なども行います。



誰でも
相談できるの?

尾道市に住んでいる人が対象です。障害の種類別、年齢に関わらず障害のある方、家族、関係者からの相談をお受けします。



相談するには
どうすれば
いいの?

以下の連絡先へご連絡ください。



尾道市障害者
サポートセンター
はな・はな



場 〒722-0017 門田町22-5
☎0848-29-5002 ・ ☎0848-29-5003
✉ hana-hana@mx32.tiki.ne.jp
受付時間 9:00～17:30
お休みの日 土・日・祝日、お盆、年末年始

因島・瀬戸地域に
お住まいの方はこちら!
尾道市障害者
サポートセンター
はな・はな
因島・瀬戸
相談センター



場 〒722-2324 因島熊町1315-1
☎0845-23-7020 ・ ☎0845-23-7030
✉ hana-inse@wakaba-innoshima.com
受付時間 9:00～17:30
お休みの日 土・日・祝日、お盆、年末年始

同じような悩みを持つ人と話ができないかな?

市では年に数回、ペアレントメンターと発達障害のある子の子育てをしている保護者が話をする機会として「メンター'Sサロン」(座談会)を開催しています。(今年度は終了しました。)



ペアレントメンターとは?

発達障害のある子の子育てを経験し、広島県の養成研修を修了した保護者が、ペアレントメンターとなって、発達障害の子育てに悩んでいる保護者の気持ちを傾聴し寄り添い、それまでの子育ての経験情報を提供するなどの活動をしています。